Creative Enzymes®

ネイティブボバインプロタミンキナーゼ、細胞質

Cat. No. NATE-0155

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	細胞質プロタミンキナーゼは、タンパク質合成の調節に関与し、間接的に多くの細胞プロセスに関連しています。細胞質プロタミンキナーゼは、真核生物開始因子4E（eIF4E）のリン酸化に関与する特異なインスリン刺激性キナーゼであり、これはmRNAによる翻訳の開始に重要です。このタンパク質は、プロテインホスファターゼ2Aファミリーのメンバーによって不活性化されるようで、マイクロシスチン、オカデ酸、ATPによっても抑制される可能性があります。リン酸化プロセスは可逆的であり、MBPK1およびMBPK2（ミエリン基本タンパク質キナーゼ1および2）が細胞質プロタミンキナーゼを再活性化する可能性があります。
用途	細胞質プロタミンキナーゼ (cPK) は牛の腎臓から分離され、分子量は約45 kDaです。これは真核生物のイニシエーションファクター4E (eIF4E) をリン酸化し、mRNAによる翻訳を開始します。これはタンパク質合成やさまざまな細胞プロセスの研究に使用されます。
別名	プロタミンキナーゼ、細胞質; 細胞質プロタミンキナーゼ; CPK; Cpk

製品情報

種	牛の
由来	牛の腎臓
形態	緩衝された水性グリセロール溶液
純度	>90% (SDS-PAGE)
活性	> 15,000 ユニット/mg タンパク質
緩衝液	50 mM Tris-HCl、pH 7.0 の 50 µl の溶液に、14 mM β-メルカプトエタノール、1 mM ベンザミジン、0.1 mM PMSF、1 mM EDTA、50% グリセロールを含む
単位定義	1ユニットは、30°CでpH 7.0の条件下で、プロタミン硫酸塩を基質として、1分あたり1 nmolのリン酸を取り込む。